



HIROKI YOSHIDA

OFFICIAL RELEASE

Race TOYOTA GAZOO RACING
86/BRZ RACE (Professional Class)

Date 2016.05.14-15

Race Track SPORTSLAND SUGO

Team OTG MOTOR SPORTS

Car OTG DL 86



占有走行～予選は絶好調で終え、決勝に期待が高まる。

86/BRZ レース第 3 戦はスポーツランド菅生で開催されました。今回は前戦の岡山でレース中の接触により、予選順位から 10 グリッド降格というペナルティーを受けることになってしまったため、予選で少しでも前の順位を獲得する必要があります。

2016.05.12-13 FREE PRACTICE (占有走行 2 位 /37 台中)

WEATHER : DRY

先ず木曜日は 25 分のフリー走行が 2 本ありました。

- 1 本目の走行では、前戦からの課題であったレース中のタイムダウンを防ぐため、距離の走ったタイヤでレース後半のシミュレーションを行います。
- 2 本目は予選時間に近かったため、予選に向けて NEW タイヤと中古タイヤで予選の比較シミュレーションを行いました。

タイム的には上位のタイムを記録することが出来ましたが、マシンバランスの面では気になる部分があったため、金曜日の占有走行に向けてセッティング変更を行って貰います。

金曜日は 30 分の占有走行が 1 本しかないため、このセッションで最終的なマシンセッティング、タイヤ選択を行わなければなりません。前日のテストで NEW と中古の熱入れタイヤを比較しましたが、両方ともメリットとデメリットがあったため、もう一度同じような比較テストを行うことにしました。

アタックした結果、セットチェンジが功を奏しマシンフィーリングもよくなったため、NEW タイヤで記録した 1' 39,980 というタイムで 2 番手につけることが出来ました。しかし、トップとは 0.4 秒ほどの差もあり簡単には詰まるタイム差ではないため、メカニックさんとセッティングや内圧を見直して予選を迎えることとなりました。



2016.05.14 QUALIFYING (公式予選 3 位 /37 台中)

WEATHER : DRY

この日は金曜日に比べると気温、路面温度共に涼しい中、公式予選の時間を迎えることとなりました。

2日間のテスト結果から NEW タイヤでのアタックに決めたため、計測 1 周目にしっかりまとめなければなりません。

15 分の予選時間のうち、9 分ほどピットで待機してアタックへと向かいます。クリアラップをとれるように調整しアタックしたタイムは、1' 39,665 と前日のタイムを上回ることが出来ましたが、トップから 0.2 秒差でポジション的には 3 番手と厳しいものとなってしまいました。

ほぼノーミスのアタックでしたが、細かいところまでミスなくまとめ、マシンバランス、タイヤ、ドライバーと全てが完璧でないとポールポジションは取れないものだと改めて実感した予選となりました。



SPONSORS



PARTNERS





HIROKI YOSHIDA

OFFICIAL RELEASE



13番手スタートから13位でチェッカーを受ける。

2016.05.04 RACE (決勝 13位 / 37台中)

WEATHER : DRY

日曜日になり、いよいよスタートの時を迎えます。

前戦の接触行為により予選ポジションから10グリッド降格となってしまうため、13番グリッドからレースをスタートすることになってしまいました。

今回の予選はトップから1秒以内に15台がひしめく大混戦となっていたので、オーバーテイクが難しくレースとなることが予想されます。しっかりチャンスを見極め、冷静なレース運びが要求されます。

フォーメーションラップでタイヤを温め、12周のレースがスタートしました。タイミングもそこそこ良かったので前の選手に並びかけましたが、抜くまでには至らず、そのままのポジションで1コーナーをクリアしていきます。

5コーナーをクリアしたところで前の選手がミスした隙を見逃さずポジションを一つ上げましたが、その混戦で別の選手に抜かれてしまったので13位のまま2周目へと進んでいきます。

そこからは徐々にペースをつかみ、5周目には前の選手をオーバーテイク、12位へポジションを上げることが出来ました。さらに11位の選手に追いつき何度かオーバーテイクを仕掛けますが、思うようにいかずそのまま周回だけが進んでいきます。

残り2周になった時点で6位から14位までのマシンが団子状態となり大混戦となったのですが、その際の場所取りが悪く一度抜いた選手から抜き返されてしまいました。そして最後までこの集団で前の選手に仕掛けていたのですが、抜くまでには至らず、13位でチェッカーとなってしまいました。

今回のレースを振り返ると、予選ポジションの3位からスタート出来なかったことが全てだと思えます。しかし、それは自分のミスが招いた結果なので、今回のようなミスを2度と繰り返さないよう冷静な判断やレース運びを心がけます。

このクラスはタイム差が少ないので予選ポジションは凄く重要になり、レース後半のレースペースも大きなポイントとなります。シリーズ中盤戦へと入っていくので、一発の速さは保ちつつレース後半のペースダウン防止を今後の課題として、次戦富士ラウンドを迎えたいと思います。

応援していただいた皆様、今回は不甲斐ない結果で申し訳ありません。このレースで悪い流れを断ち切り、次戦以降は優勝争いが出来るよう努力します。引き続き、ご指導ご支援よろしくお願ひ申し上げます。

 吉田 広樹



SPONSORS



PARTNERS

